

仙台市文化財調査報告書第155集

年報 12

平成 2 年 度

平成 3 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

仙台市文化財調査報告書第155集

年 報 12

平成 2 年 度

平成 3 年 3 月

仙 台 市 教 育 委 員 会

序 文

平成元年度に策定された『仙台市総合計画2000』では21世紀の仙台の都市像として「都市と自然が調和する杜の都のすぐれた環境のもとに東北の発展を担う中枢都市」を掲げ、「歴史と伝統に培われた風土を大切にすること」を基本的な視点の一つとしております。

この「歴史と伝統」を具体的に示しているものこそ「文化財」であります。当教育委員会ではこれらの貴重な文化財を保護し後世に伝えるとともに、現代生活の中で活用するためさまざまな事業を展開しております。普及啓発活動では「名取川と遺跡」と題した「文化財展」の開催、『文化財保護の手引』の出版、多量の木製品が出土し全国的に注目された「中在家南遺跡」のパンフレット刊行等を行いました。また、指定文化財等の保護・管理や伝統工芸・民俗芸能の保存事業も行いました。

開発行為等に伴う埋蔵文化財発掘調査事業では38件の調査・整理を実施しました。郡山遺跡Ⅱ期官衙南方における7～8世紀の長大な建物跡、燕沢遺跡における7～8世紀の瓦窯跡の発見など多くの成果を得ました。

さらに昭和63年度富沢遺跡30次調査地区につきましては「旧石器の森」として整備・活用することとし、2万年前の遺跡を保存する技術について「富沢遺跡保存技術調査委託」を行いました。

今後とも市民の皆様のご支援とご助言をお願い申し上げ刊行のご挨拶といたします。

平成2年3月

仙台市教育委員会

教育長 東海林 恒英

目 次

序言

日次

例言

1. 管理係関係事業報告.....	1
2. 調査係関係事業報告.....	5
3. 普及活動関係事業報告.....	20
4. 新規登録の遺跡.....	24
5. 仙台市内にある指定文化財一覧表.....	27

職員録

仙台市文化財調査報告書刊行目録

例 言

1. 本書は仙台市教育委員会社会教育部文化財課が、平成2年度に実施した保護管理、調査、普及啓発に関する各事業に関する年度報告である。
2. 本書の地形図は、建設省国土地理院発行五万分の一「仙台」を使用したものである。
3. 執筆は、各担当が行ない、本書の編集は全員の協力のもとに田中則和が行なった。

1. 管理係関係事業報告

(1) 一般文化財

① 文化財保護委員会の開催・文化財の指定

定例会（隔月偶数月）6回を開催。平成2年12月に委員の改選を行い、有賀祥隆氏（東北大学教授・美術）、氏家和典氏（東北工業大学講師・考古）の両氏を新たに委員に委嘱した。

また、委員長に加藤陸奥雄氏、副委員長に佐藤巧氏がそれぞれ再選された。

本年は文化財の新指定はなかったが、県指定有形文化財である「坤輿萬國全図」（宮城県図書館所蔵）が新たに国指定重要文化財となった。

② 文化財パンフレット等の作成

- ・第21集 名取川と遺跡 4,000部
- ・第24集 第14回文化財展－発掘この一年－ 3,000部
- ・第25集 中在家南遺跡 10,000部
- ・文化財保護の手引 1,000部
- ・甦る遺産仙台城－仙台城現代複合図－ 3,000部

③ 説明板、標柱の設置

名 称	種別	設 墓 場 所
四ヶ谷堰用水	再建	青葉区鶴六
説明板	新設	太白区秋保町湯元
姫池	新設	太白区秋保町馬場字岳山
磐司	新設	太白区秋保町馬場字岳山
長命館跡	新設	泉区加茂
賀茂神社本殿	新設	泉区加茂
陸奥国分寺薬師堂	再建	若林区木ノ下
白山神社本殿	再建	若林区木ノ下
芭蕉句碑	再建	若林区木ノ下
朝鮮ウメ	新設	若林区古城

④ 辻標の設置

5基を設置した。今年度まで74基となった。

設置町名・通名	設置場所
小田原造水厂／小田原抽振厂	青葉区宮町一丁目3-18 旅館富貴閣地内
行人坂／鍛橋通	青葉区川内 東北大学野球グリウンド地先
袋町／太夫小路	青葉区片平二丁目1 東北大学金属材料研究所地先
南銀治町・三百人町	若林区南銀治町34地先
宮沢／銀岸	太白区銀岸4-20地先

⑤ 文化財めぐり・文化財講座・民俗芸能のつどいの開催

市民の文化財に対する理解と認識を深め、あわせて文化財愛護思想の高揚を図るため、下記の行事を開催した。

行事名／実施月日	会場等	講師	参加者	内 容
親子文化財めぐり 「史跡をたずねて」 8月23日(土)	市内	平坂春一氏 (文化財課長)	親子35組	善光寺横穴古墳群、遠見塚古墳、郡山遺跡、陸奥国分寺跡
民俗芸能のつどい 3月16日(土)	仙台市博物館 ホール	千葉雄一氏 (宮城県文化財保護委員)	120名	上谷刈の鹿踊、川前の大舞、馬場愛宕神社神楽、野口の鹿踊の各保存会
文化財講演会 「仙台城跡の自然」 写真展「青葉山」 (河北新報社協賛) 3月21日(土)	仙台市博物館 ホール ホール：写真 (ギャラリー) ホール：写真 (化財保護委員) 展)	加藤陸奥雄氏 大橋広好氏 (ギャラリー：(両氏とも仙台市文化財保護委員))	120名	仙台城跡自然環境総合調査に基づく仙台城跡の自然環境の現状と課題を報告

⑥ 文化財分布調査

- ・泉地区遺跡詳細調査を実施
- ・古民家等の分布調査を実施

⑦ 無形民俗文化財記録保存

市内に伝承されている民俗芸能等についての記録作成及び伝承者・団体の意識高揚に資するため、民俗芸能のつどいのビデオ撮影を実施した。

⑧ 指定文化財の維持管理

陸奥国分寺跡、陸奥国分尼寺跡、山田上ノ台遺跡、三沢初子の墓、遠見塚古墳、松森塙硝藏跡などの除草、清掃を実施した。

⑨ 文化財の防災点検

第37回文化財防火デーに当たり、1月26日を中心に防災訓練12ヶ所、特別査察20ヶ所、広報活動（文書送付）などを仙台市消防局などの協力のもとにそれぞれ実施した。

⑩ その他

- ・国指定天然記念物「苦竹のイチョウ」の保全剪定を行った。
- ・市指定有形民俗文化財「上前の十三塚」の指定境界柱の設置等を行った。

(2) 補助事業

① 陸奥国分寺跡土地買上事業

陸奥国分寺跡の保護活用を図るために、史跡内の土地826.82m²（4件）を買収した。これにより史跡地内における買上げ実績は指定面積の28.37%となった。

② 有形文化財建造物補助事業

下記の事業に対して補助を行った。

- ・賀茂神社社殿塗装修理事業（下賀茂社殿についてベンガラ塗りを中心に実施）
- ・賀茂神社防災施設改修事業（火災報知設備の交換等）
- ・大崎八幡神社防災施設保守点検
- ・東照宮防災施設保守点検
- ・陸奥国分寺薬師堂防災施設保守点検

③ 無形文化財技術保持補助事業

- ・精好仙台平の技術保持者甲田綏郎氏に対して補助を行った。（原材料購入費）

④ 無形民俗文化財補助事業

以下の16の民俗芸能の保存会に対して補助を行った。

- ・大崎八幡神社能神楽
- ・芋沢の田植踊
- ・長袋の田植踊
- ・大沢の田植踊
- ・上谷刈の鹿踊・剣舞
- ・馬場愛宕神社神楽
- ・愛子の田植踊
- ・下倉の田植踊
- ・馬場の田植踊
- ・川前の鹿踊・剣舞
- ・野口の鹿踊
- ・新川の田植踊
- ・湯元の田植踊
- ・大倉の田植踊
- ・福岡の鹿踊・剣舞
- ・滝原の顕抒



刈払いを行った上前十三塚



長命館跡に設置した説明板



野口の鹿踊



川前の剣舞

民俗芸能 のつどい



上谷刈の鹿踊



馬場愛宕神社神楽

2. 調查係閨係事業報告

平成2年度発掘調査事業は国庫補助事業として郡山遺跡・仙台平野の遺跡群の発掘調査を実施した。埋蔵文化財発掘調査事業では受託事業として富沢遺跡12件、山口遺跡2件、燕沢遺跡2件、大蓮寺窯跡、沼遺跡、南小泉遺跡、町田遺跡、山田条里遺構の計21件、自主事業では下ノ塙遺跡、押口遺跡、郡山遺跡、上ノ原山遺跡、大貝中遺跡、相ノ原遺跡、養種園遺跡、山田条里遺構の計9件を継続した。全体として整理作業及び報告書刊行として9件ある。

この他、昭和62・63年度に発掘調査した富沢遺跡第30次調査地点については、「山石器の森」として整備するため、保存技術調査委員会を行なった。

平成2年度発掘調査概要一覧

No.	遺跡名	所在地	調査原因	調査期間	調査面積	内容	調査員	報告書
1	郡山(86~89次)	太白区郡山	国庫補助	7/10~12/11	1,257 ㎡	宮町遺跡	木村・赤野	146集
2	富沢(57~60次)	太白区長町南他	共同住宅地	4/11~12/20	1,389 ㎡	水田跡地	船谷・加賀・吉澤・ 丸井・佐藤	152集
3	荒沢(5・6次)	宮城野区荒沢東他	宅地造成地	8/30~12/11	405 ㎡	平安時代集落 跡地	佐藤紹・工藤尚・ 井手	134集
4	大連寺跡(2次)	吉城野区弘仙台	捲空工事	8/6~9/14	390 ㎡	廻路	田中・諒等	
5	沼	泉区上各町	土地区画整理	4/11~9/4	5,600 ㎡	平安時代集落 跡地	佐藤紹・工藤尚	
6	南小泉(26次)	岩谷区古城	道路建設	4/11~5/30	260 ㎡	古墳・平安時 代集落跡	工藤尚・荒井	153集
7	町田	太白区茂庭	郵便局整備	4/16~6/22	1,300 ㎡	近世集落跡地	木村・五十嵐	
8	山田条里港構	太白区山田他	農村基盤整備	4/25~12/14	3,700 ㎡	平安時代水田 跡地	渡部昭・高介	147集
9	下ノ曽	太白区大野田	都市計画道路	4/23~12/27	6,000 ㎡	中世丘陵地地	小川・渡部祐	
10	押口	若林区荒井	土地区画整理	6/4~11/8	960 ㎡	木製品多量出土	工藤尚・荒井	
11	郡山(65次)	太白区郡山	学校建設	4/9~12/17	1,700 ㎡	宮町跡地	金森・長助	
12	上ノ原山	太白区茂庭	国道改修	4/16~12/20	2,000 ㎡	旧石器出土	船谷・木浦・ 五十嵐	
13	相ノ原・大良中	太白区坪沼	国道改修	4/11~7/11	2,620 ㎡	平安時代聚落 跡地	木浦・高倉	

[1] 郡山遺跡（第86～89次調査）

（国庫補助事業）

- 調査地 仙台市太白区郡山三丁目
- 調査期間 平成2年7月10日～12月11日
- 調査面積 1,257m²
- 調査員 木村浩二、斎野裕彦
- 調査の概要

今年度は第3次5ヶ年計画の初年次にあた

り、昨年度に引き続き、Ⅰ期官衙の中核部分の遺構確認を目的として第86次調査を計画した。また、住宅建築等に伴う発掘届が提出されていた地区での小規模な事前調査を2件実施した。さらに、郡山中学校敷地北側において緊急に遺構確認調査をする必要が生じたことから、第89次調査を実施した。

第86次調査は方四町Ⅱ期官衙の中央北地区にて行った。昨年度実施した第83次調査及び昭和57年度実施した第24次調査区に隣接している。調査の結果、Ⅰ期官衙の内部を区画する材木列塀や板塀跡、掘立柱建物跡の他、5基以上の鍛冶炉を持つ鍛冶工房跡が発見された。

第87次調査は方四町Ⅱ期官衙の中央北よりの地区にて行った。外郭北辺より150m程南に位置し、第24次調査区に隣接している。調査の結果、Ⅰ期官衙の倉庫建物跡、Ⅰ期官衙もしくはそれ以前の堅穴住居跡を発見した。

第88次調査は第87次調査区に隣接して行われた。調査の結果、Ⅰ期官衙内部の区画施設と見られる一本柱屏跡等を発見した。

第89次調査は方四町Ⅱ期官衙の外郭南辺外地区にて行った。調査区は今年度も継続して調査中の第65次調査区の北側に隣接している。調査の結果、上層で中世から近世の水田跡を検出したが、官衙に関連する遺構は発見されなかった。

※詳細は、「郡山遺跡—平成2年度発掘調査概報」仙台市文化財調査報告書第146集を参照。



第86次調査区西側全景



第87次調査区SB264

[2] 富沢・山口遺跡

今年度の富沢地区の調査は、富沢地区で13地点（第57～69次）、山口遺跡で2地点（第13・14次）が実施された。この内、富沢遺跡第57次調査は昨年度からの継続調査である。両遺跡とも全地点で弥生時代から近代までのいざれかの時代の水田跡が検出されている。

富沢遺跡では、今年度までの調査成果によって北東部・北西部・中東部・南部の4地域内の各調査区間で、層位の対応関係が認められ、それぞれの地域の弥生時代以降の基本層序を設けることが可能となった。この内、北東部地域では基本層序の包括範囲が広く、その範囲は南北550m、東西770mにも及ぶ。また、南部地域の基本層序に山口遺跡第13次調査区も包括され、富沢遺跡南部地域の基本層序が山口遺跡にも及ぶことが確認された。なお、富沢遺跡では、上記水田跡検出の他に第58・63・66・68次の4調査区の下層で、旧石器時代と考えられる腐植質粘土層が検出されている。この層中からは、樹木の幹・根・種子・穀果・昆虫などが出土している。

※詳細は「富沢・山口遺跡(3)」仙台市文化財調査報告書第152集を参照。

調査要項

調査次数	所在地	調査期間	調査面積	調査員
富沢 第57次	長町南四丁目5-25	7月9日～8月7日	約70m ²	佐藤 洋
富沢 第58次	長町南四丁目4	4月11日～7月3日	約101m ²	佐藤 洋・太田昭夫・中富 洋
富沢 第59次	泉崎一丁目20	4月12日～4月26日	約19m ²	平岡亮輔
富沢 第60次	鹿野三丁目23	5月7日～5月28日	約112m ²	平岡亮輔
富沢 第61次	鹿野三丁目24	5月14日～5月24日	約25m ²	佐藤甲二
富沢 第62次	泉崎一丁目7-51	6月6日～6月19日	約28m ²	佐藤 淳
富沢 第63次	鹿野三丁目20	6月11日～8月17日	約260m ²	平岡亮輔
富沢 第64次	長町南三丁目16-1	7月10日～7月31日	約41m ²	佐藤 淳
富沢 第65次	長町南三丁目20-23	8月21日～10月18日	約179m ²	中富 洋
富沢 第66次	鹿野三丁目19	8月27日～10月15日	約115m ²	佐藤 洋
富沢 第67次	長町南四丁目16-35	8月30日～9月7日	約12m ²	佐藤甲二
富沢 第68次	鹿野三丁目14	10月22日～12月20日	約151m ²	佐藤 洋
富沢 第69次	長町七丁目19-24	10月24日～12月17日	約150m ²	中富 洋
山口 第13次	富沢一丁目1	6月11日～7月4日	約61m ²	佐藤甲二
山口 第14次	富沢一丁目11	10月22日～11月14日	約65m ²	工藤信一郎・吉岡恭平





第58次調査（旧石器時代の樹木群）



第63次調査（古墳時代水田跡）

[3] 燕沢遺跡—第5・6次調査—

1. 調査地 仙台市宮城野区燕沢東三丁目
2. 調査期間 (5次) 平成2年8月30日～9月18日
(6次) 平成2年12月5日～12月11日
3. 調査面積 (5次) 約300m² (6次) 約105m²
4. 調査員 佐藤好一(5次調査)、工藤信一郎(5・6次調査)、田中則和(6次調査)
5. 調査の概要

燕沢遺跡は七北田丘陵の東端に位置する。昭和56年以来、宅地造成などに伴い、4次の発掘調査が行われてきた。5・6次調査も宅地造成に伴う事前調査である。

5次調査地は東南斜面で標高は約30mである。調査の結果、奈良時代の土坑1基、平安時代の堅穴住居跡2軒・堅穴状遺構1基、時代不明の土坑3基・溝状遺構8条・ビット41基を検出した。出土遺物は土師器、須恵器、瓦などである。瓦には軒丸瓦、丸瓦、平瓦があり、SK1などから出土している。

6次調査地はゆるやかな北斜面で標高は約30mである。5次調査地の北側に接している。調査の結果、古墳時代塩釜式の堅穴住居跡1軒が柱穴状ビットと溝状遺構の配置から想定された。この他、平安時代の溝状遺構1条、時期不明の土坑2基・溝状遺構5条・ビット69個を検出した。出土遺物は土師器、須恵器、瓦、磨面ある円碟などである。瓦には丸瓦、平瓦がある。

※詳細は「燕沢遺跡第4・5・6次発掘調査報告書」(仙台市文化財調査報告書第154集) 参照。



5次調査



6次調査

[4] 大蓮寺窯跡—第2次調査—

1. 調査地 仙台市宮城野区東仙台六丁目13-26
2. 調査期間 平成2年8月6日～9月14日
3. 調査面積 約390m²
4. 調査員 田中則和、篠原信彦
5. 調査の概要

大蓮寺窯跡は七北田丘陵東端の舌状張り出し部に立地する。調査地点は東南斜面（標高27～30m）である。台原・小田原窯跡群の東端に位置し、1937年内藤政恒氏が「宮城県利府村春日瓦焼場大沢瓦窯跡研究調査報告」で窯跡の存在を指摘している地点に含まれると考えられる。

発見遺構は窯跡3基、灰原1地点、溝状遺構7条などを検出した。この内、遺存の良い2号窯跡は瓦を焼成した地下式あな窯である。調査区内での長さは約7.5mを計る。主軸方向はN36°Wである。焼成部・燃焼部・前庭部からなる。前庭部と燃焼部の傾斜角度は約6度と非常にゆるやかであるが、焼成部は約33度とかなり急である。焼成部には階段状の焼成施設が設けられ、調査区内で11段を確認した。階段上には焼台と考えられる丸瓦・平瓦平坦面の幅に合わせて分割されて数段に重ねられていた。前庭部は平面形が方形を呈し、最大幅（底面）は約3.3mを計る。壁際は溝がめぐる。燃焼部南半の西壁沿いから、その延長線上の前庭部には排水施設と考えられる丸瓦の埋設部が認められる。瓦は燃焼部・前庭部より大量に出土した。すべて破片であり、破棄された様相を示している。年代は現段階では7世紀後葉から8世紀前葉の年代を考えている。この他、調査区北東部で灰原を検出し多量の瓦と少量の須恵器・円面鏡・甄などが出土している。年代は現段階では7世紀後葉から8世紀初頭と考えている。



灰原



2号窯跡

[5] 沼遺跡

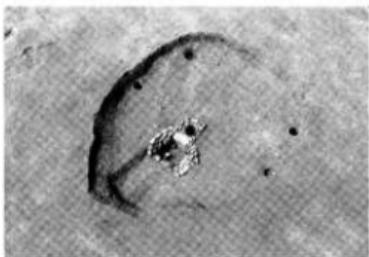
- 調査地 仙台市泉区上谷刈字遠聖堂・山下塚他
(仙台市上谷刈土地区画整理事業施工地内)
- 調査期間 平成2年4月11日～9月4日
- 調査面積 5,600m²
- 調査員 佐藤好一、工藤信一郎
- 調査の概要

沼遺跡は、泉区役所の南西約1.5km、七北田川南岸の河岸段丘上に立地している。遺跡内の標高は24～25m程である。平成元年の遺跡範囲確認調査の結果、縄文中期の遺物包含層、近世の水田跡、中～近世の道路跡を確認したため今年度調査を実施した。

〈縄文時代遺物包含層〉 遺跡内北側の北～南に傾斜する緩い沢状地形を呈する部分に形成されている。出土遺物としては大木7式期を中心とする中期前半の土器・石器類がある。この包含層を取り囲むように、堅穴住居跡8軒と土坑群が検出されている。住居跡は、土器埋設部・敷石石組部・前庭部からなる複式炉をもち、1軒を除き炉埋設土器が残存していた。出土遺物から大木10式期のものである。土坑は、円形を基調とするものがほとんどで時期については、縄文中期のものと時期不明のものとに分けられる。

〈近世水田跡〉 現在の水田直下に検出され、保存状況はよくない。畦畔は残存せず疑似畦畔として確認される。方形を基調とする合計17枚の水田区画を確認している。水田域北西側に近世の墓塚13基が検出された。出土遺物としては、棺材の一部や古錢、煙管、陶磁器等がある。

〈道路跡〉 道路神社(道六神社)の南側に検出された。地元では「九太沢右道」と呼称され、元和元年に伊達政宗が新道を整備するまでの街道であったといわれている。小字名「塚」には、最近まで塚が残っており、「安永風土記－上谷刈村書上－」に記載のある一里塚であったともわれる。



1号堅穴住居跡

[6] 南小泉遺跡－第20次調査－

1. 調査地 仙台市若林区古城三丁目432-4他
2. 調査期間 平成2年4月11日～5月30日
3. 調査面積 260m²
4. 調査員 工藤哲司、荒井 格
5. 調査の概要

南小泉遺跡は広瀬川の北岸に形成された標高10m前後の自然堤防上に立地する。今回はその南辺中央で、道路敷設工事に伴い調査を実施した。遺構検出面は畑の耕作土直下の黄褐色シルト層上面の1面だけであった。検出遺構には、堅穴住居跡4軒・掘立柱建物跡2棟・土坑6基・溝跡7条・ピット34個・その他の遺構1基がある。

堅穴住居跡は古墳時代前期（塩釜式）の住居1軒と、平安時代（表杉ノ入式）初期頃の住居3軒がある。3軒のうち1軒は火災住居である。平安時代初期頃の住居跡は住居の各角から1m前後のところに壁柱穴（支柱穴）を持ち、その構造と出土遺物及び住居相互の配置、火災住居の存在等から、同一集団の建て替えによる変遷過程を示す住居の可能性が考えられている。

掘立柱建物跡はいずれも調査区の外にのびているため規模の分るもの、また出土遺物から時期の分るものもないが、1棟は掘り方の大きさから古代のものと考えられる。

土坑・溝跡・ピット・その他の遺構は時期は不明である。

出土遺物には古墳時代前期及び平安時代初期頃の土師器・平安時代初期頃の須恵器のほか、弥生時代の有角石斧・平安時代初期頃の土製防錐車等がある。

※詳細は、「南小泉遺跡第20次発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第153集を参照。



20次調査区全景



1号住居跡全景

[7] 町田遺跡

1. 調査地 仙台市太白区茂庭字町北
2. 調査期間 平成2年4月16日～6月22日
3. 調査面積 約1,300m²
4. 調査員 木村浩二、五十嵐康洋
5. 調査の概要

町田遺跡は、仙台市街の中心部から南西約9km、山形・秋保方面へ続く国道286号線沿いに発達した生出上町・中ノ瀬・町等の集落の北側に所在する。この地区は四方を丘陵に囲まれ、名取川左岸に形成された、茂庭低地とよばれる段丘面となっている。遺跡はこの茂庭低地の西端近くに位置し、標高約69mの段丘面上に立地している。この遺跡範囲にかかり、生出郵便局庁舎の建築工事に伴う発掘届が提出されたことから、平成元年度、敷地内の試掘調査を行った。その結果、遺構・遺物の存在が確認されたことから発掘調査を実施した。

調査区は、搅乱・削平の著しい北西部を除いて設定した。表土・耕作土は浅く、この直下で遺構を検出した。検出した遺構は、縄文時代のおとし穴23基、平安時代の堅穴住居跡1軒、近世と見られる掘立柱建設跡30棟を含む小柱穴・ビット489、近世の墓坑3基、時代・性格の不明な土坑25基等である。

出土した遺物は、縄文土器、石器、石製品、土師器、須恵器、磁器、桶板（棺桶）、煙管、人骨・歯、古錢等である。

調査の結果は次のようにまとめられよう。(1)縄文時代には、多くのおとし穴が作られ、狩猟の場となっていた。(2)平安時代には、堅穴住居による小規模な集落がいとなされた。(3)近世には、小規模な建物が繰り返し建てられ、長期にわたって村が営まれた。



調査区全景（南東）



SK 7 土坑

[8] 山田条里遺構

- 調査地 仙台市太白区山田字谷地浦、鈎取字東根添他
- 調査期間 平成2年4月25日～12月14日
- 調査面積 約3,700m²
- 調査員 渡部弘美、高倉祐一
- 調査の概要

当遺跡は仙台市西部の山田・鈎取地区に位置し、名取川によって形成された段丘面に立地する。条里型土地割が広範囲に看取され、条里制に起因する土地割と考えられてきた。今回の調査は農村基盤総合整備事業（圃場整備）に係る2年次目の調査となる。

調査は排水路予定部分を中心に大小のトレンチ（A～G・1～18）を設定し実施した。基本層位は大別で5層確認し、1～3層が水田土壌、4層が縄文時代の文化層、5層が粘土・砂礫面となり下部に向けて疊層となる。発見遺構には近世の堀跡、近世・平安時代の水田跡、縄文時代の炉跡・土坑（陥れ穴）、時期不明の掘立柱建物跡・溝跡・土坑等がある。堀跡は西辺・北辺・南辺が確認され西辺長は約98mを計り、南辺部では入口が確認された。多量の陶磁器類・木製品が出土し、陶磁器類は江戸後期から明治前半頃のものと考えられる。水田跡としては2層面で1条、3層面で17条の畦畔を確認した。調査区の制約から区画等の判明するものはない。Bトレンチ3層面検出水田跡では5条の畦畔を検出し、方形の区画を有するものと考えられた。方向は真北に対し0～24度東偏、直交するものがあり現水田との関わりが留意される。ロクロ使用の土師器・灰白色火山灰が含まれ平安時代に位置づけられる。炉跡は2基確認したが径90cm程の円形の石組炉である。陥れ穴状の土坑は3基確認した。底面にピットを1ヶ有している。掘立柱建物跡は4棟確認したが小規模なもので性格は不明である。

※詳細は「仙台平野の遺跡郡X—平成2年度発掘調査報告書」仙台市文化財調査報告書第147集参照。



B区3層面検出水田跡



SD 9 炉跡検出状況

[9] 王ノ壇遺跡

(都市計画道路「川内柳生線」関連遺跡)

- 調査地 仙台市太白区大野田字王ノ壇地内
- 調査期間 平成2年4月23日～12月27日
- 調査面積 約6,000m²
- 調査員 小川淳一、渡部 紀
- 調査の概要



本年度は、都市計画道路「川内柳生線」関連遺跡の発掘調査の3年次である。調査対象遺跡は、前年度より継続調査の王ノ壇遺跡である。本年度は、I区北半、II区、V区、VI区、VII区の調査を実施した。I区北半：（南部）縄文時代後期の調査－10層上面で環状の配石遺構（径約12メートル）を検出。配石下に土坑等の施設なし。（北部）この地域には東西に旧河道が通る。旧河道堆積上面で中世頃の遺構検出。掘立柱建物跡、柵列、土坑。旧河道の一部深堀り区から、縄文時代後期～晚期の土器、河床から、流木、クルミ、トチの実など。II区：3層上面（中世頃）－掘立柱建物跡、堅穴建物跡、土坑、柵列、道路跡？。6層上面（古代）－堅穴住居跡1軒、小溝状遺構群。10層上面（縄文後期）－焼面1カ所（クルミ集中）。

V区：3層上面（中世頃）－区画大溝4条、溝、掘立柱建物跡、小溝状遺構群。5層上面（古代）－小溝状遺構群。6層上面（古代）－円墳1基（大野田6号墳とする）。7、9層（縄文時代後期遺物包含層）。10層上面（縄文後期）－北西部土坑群。VI、VII区－表土剥離、遺構検出のみ。大溝、土坑、掘立柱建物跡など。遺物としては、中世陶器、磁器、土師器、須恵器、弥生土器、縄文土器、石核、剥片等の他、板碑、宝鏡印塔、切子玉、ガラス玉、石製機造品、土偶、スタンプ形土製品、猪形土製品、耳飾りなどがある。また、調査中に、焼夷弾2発や、地震の液状化現象跡（噴砂）なども発見された。尚、小溝状遺構群の土壤の残存脂肪分析で、十字科植物との結果が得られた。



大野田6号墳と小溝状遺構群



配石遺構（縄文時代後期）

[10] 押口遺跡

- 調査地 仙台市若林区荒井字大場伝28他
- 調査期間 平成2年6月4日～11月8日
- 調査面積 960m²
- 調査員 工藤哲司、荒井 格
- 調査の概要

押口遺跡は仙台市東部に広がる沖積地の自然堤防から旧河道にかけて立地し、遺跡の標高は4.5m前後である。仙台市荒井土地区画整理事業に伴い、街路部分の調査を実施した。

自然堤防部では土坑2基・溝跡1条を検出したがいずれも時期は不明である。

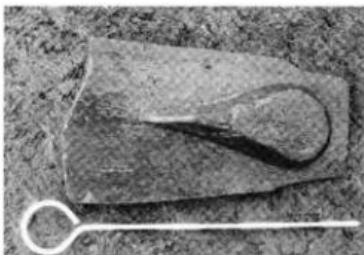
旧河道は南北方向にのびるが、東壁が攻撃斜面となって抉られ緩く湾曲している。幅は約20m・深さは2.8mを計る。堆積土は15層に大別され、木製品を主とする遺物が出土している。各層の年代と主な出土遺物は、1a層（現水田耕作土）、1b層（近世～近代水田耕作土）、2層（中世？水田耕作土）、3層（時期不明）、4層（10世紀前半頃～灰白色火山灰）、5層（10世紀前半以前の平安時代）「丈」墨書銘上飾器坏・須恵器甕・漆付着曲物、6～11層（時期不明）、12層（古墳時代前期～塩釜式）広鉢未製品・鍬？・横鍬・二又鋤・鍬柄柄・弓・矢、13層（時期不明）、14～15層（弥生時代中期～樹形圓口）長柄鋤未製品・泥除け具未製品・斧直柄未製品・有柄不明木製品である。また12層中では東岸寄りに落込みがあり、塩釜式期の土師器とともに範状木製品や貝殻が出土している。

この旧河道については、規模・堆積土の層序およびその所属時期の類似性から、中在家南遺跡跡で検出されている旧河道と同一の河川跡である可能性がある。

（注）仙台市教育委員会（1989）：「中在家南遺跡他」仙台市文化財調査報告書第132集『年報10』



旧河川跡（西より）



鐵未製品（古墳時代前期）

[11] 郡山遺跡—第65次調査—

(郡山中学校体育館、柔剣道場建設に伴う発掘調査)

- 調査地 仙台市太白区郡山五丁目10-1
- 調査期間 4月9日～12月17日
- 調査面積 1,700m²
- 調査員 金森安孝、長島榮一
- 調査の概要

昨年度の第65次調査N区において、SB1306建物跡（2間×10間、東西棟、総長24m）やSB1191建物跡が調査区の北、南端より発見されたため、学校建設課と協議し体育館の配置を南北から東西に長い配置に変更した。したがってN区の中央部分の下層調査とその西側に新たにO区、P区を設定し、今年度調査を実施した。

O区、P区のN層上面からは、SB1306建物跡と同規模の建物跡を2棟（SB1320、1321建物跡）検出した。配置や検出状況から、SB1306建物跡とSB1320建物は同時期に建てられたようである。このような2間×10間の長大な建物が並ぶのは、古代の郡衙類例に見られるもので、きわめて公的性格の強い建物と考えられる。郡山遺跡のII期官衙の外側にありながらこのような建物が存在するということは、II期官衙の機能を考える上でも重要な発見と言える。昨年度より体育館の建設予定地から、次々と大型の建物跡が発見されたため、将来近隣に建築される柔剣道場と合わせ、発掘された建物跡を保存しながら体育館を建築するよう担当課と協議し、造構をはずし一部2階建てで建てられる予定である。尚、上層のⅢ、Ⅳ層より中世から平安時代の水田跡を検出し、さらに、建物跡の南側約900m²については下層調査を実施し、弥生時代の水田跡、縄文時代後期中葉の造構・遺物を発見している。



SB1320・1321建物跡



弥生時代の水田跡

[12] 上ノ原山遺跡

- 調査地 仙台市太白区茂庭字上ノ原山
- 調査期間 平成2年4月16日～12月20日
- 調査面積 約2,000m²
- 調査員 熊谷幹男、主浜光朗、五十嵐康洋
- 調査の概要

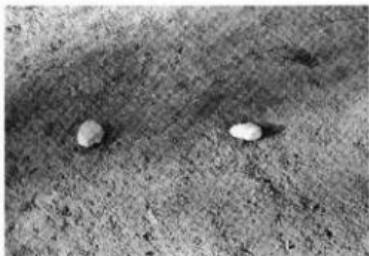
当遺跡は、名取川左岸の段丘上にあり、標高は70～90mである。国道286号線の改修工事に先だって平成元年の10月から12月まで第1次調査が実施され、旧石器時代の遺物が確認された。これを受け本年度は旧石器時代の文化層の検出を主な目的とした調査を行った。当遺跡周辺には、縄文時代から平安時代の遺跡が多数確認されており、とくに中世には茂庭低地周辺部の丘陵上に山城が集中して存在している。しかし、これまでに旧石器時代の遺跡は確認されていない、調査区は便宜的にI～IV区に分け、II→I→III・IV区の順に調査することにし、今年度はI、II区の調査を終了しIII、IV区の調査は来年度に行うこととした。

調査の結果、基本層位は1層から19層（礫層）まで確認された。5層上面が縄文時代以降の遺構確認面であり、平安時代の堅穴住居跡1軒、縄文時代の堅穴造構2基、土坑18基などがある。土坑は全てTピットであり、隅丸長方形や溝状のものがある。5層は火山灰層への漸移層で6層から9層までが火山灰層である。7層には約3万年前に降下した川崎スコリア層が含まれている。I、II区とも10層上面まで全面の調査を行い、10層以下礫層まで確認トレンチを設定して調査した。I区では5層中～10層上面の各層から石器が出土している。10層以下では遺物は出土しなかった。

出土遺物は、縄文時代早期～前期初頭の土器片、石器、平安時代の土瓶器、須恵器の他旧石器時代の石器がある。特に8層以下の石器は前期旧石器時代に属する石器であると考えられるが出土点数が少なく、規則的なまとまりが見られないことから、平成3年度に調査する予定であるIII区、IV区の調査における成果と合わせて考えていく必要がある。



I区全景



I区石器出土状況（1989年度）

[13] 相ノ原・大貝中遺跡

- 調査地 仙台市太白区坪沼字相ノ原・大貝中
- 調査期間 4月11日～7月11日
- 調査面積 約2,620m²
- 調査員 主浜光朗、高倉祐一
- 調査の概要

相ノ原・大貝中遺跡の調査は、仙台市道路部の国道286号線改修工事に先立って行われた。相ノ原遺跡は名取川南岸の河岸段丘上に、大貝中遺跡は名取川支流坪沼川の東岸の北に張り出した舌状河岸段丘上に位置する。

今回、大貝中遺跡は、18ヶ所トレンチを設定して造溝検出のみの試掘調査を行い、来年度本調査を行うこととした。検出遺構には平安時代の堅穴住居跡（カマド有り）1軒・時期不明の溝3条と土坑3基がある。また出土遺物としては縄文土器（早期～中期）・土師器・須恵器・陶磁器・石器類（石鍬・石匙・スクレーパー他）・石製模造品など、約850点がある。

相ノ原遺跡も16ヶ所のトレンチを設定し試掘調査を行ったが、遺構・遺物の確認が2ヶ所に限定されることから、その地点を拡張し本調査に切り換えた。検出遺構には平安時代の堅穴柱居跡1軒・時期不明の石組暗渠2条と溝2条・縄文時代の土坑2基・平安時代の土師器甕を伴う土坑1基と時期不明の土坑が1基ある。また出土遺物としては縄文土器（深鉢他）・土師器（壺・甕他）・須恵器（壺他）・石器類（石鍬・石匙・礫石器他）など、約1200点がある。

今回の調査の結果、両遺跡とも縄文・平安・それ以降の時代の遺構や遺物が発見されていることから、各時代を通して人々の生活の跡が伺える遺跡であるといえよう。また大貝中遺跡に関しては、遺跡の全貌が明らかになっていないため、来年度の調査に期待したい。



S D 02石組暗渠検出全景



S I 06住居跡全景

3. 普及活動関係

私たちの祖先は、豊かできびしい自然の中で生活を営んできた。その自然との対話の中から工夫・創造し、はぐくまれてきた文化遺産は、現代社会に生きる私たちに、人間としての生き方、未来へのあり方を示し、数多くの教訓を語りかけてくれている。

そこで、これらの文化遺産(文化財)を市民の方々に分かりやすく紹介したり、さまざまな行事に参加していただくことによって、文化財に対する興味・関心・理解を深め、文化財の保護意識の高揚を図ることを主たる目的として、多くの行事を実施した。その中のいくつかを紹介する。

(1) 発掘体験学習会

過去の人間の発展や技術的な達成をそれぞれの段階で子どもたちに教え、過去及び現在の人間の行為が、現在の環境や地形を作り上げていることに気づかせるとともに、環境をいかに大切にして保護することができるかに気づかせることをねらいとし、この一連の発掘体験学習によって、過去に関する物理的な証拠資料を体系的かつ慎重に調査することを通して、児童は容易に、さらに楽しみながら、私たち人間の過去を理解することが出来ると思われる。

今年度は、仙台市立大野田小学校・東長町小学校・郡山中学校・七郷小学校の4校を対象に体験学習会を実施した。

- ① 事前見学（年間を通じた学習内容の確認と事実の把握）
- ② 事前指導（市内の遺跡についての学習、考古学についての理解と発掘調査に対する意識の高揚）
- ③ 実体験（調査現場において実際に体験する）
——王ノ壇遺跡・郡山遺跡・押口遺跡——
- ④ 事後見学（再度遺跡を見学し、時代の流れをイメージさせ、学習内容について再確認する）
- ⑤ 発表会（体験学習についてまとめ発表する）



大野田小事前見学



東長町小実体験

先人の努力・工夫を理解するとともに、文化財に関心を持たせることにより、古代に生きた人々がどのような場所に住み、どのように暮らしをしてきたのかを知るとともに、それらを知るための基本的な方法について興味・関心を持つことが出来たのではないだろうか。

(2) 夏休み親子体験学習会

親子体験学習会は、今年で5回目を迎えたが、今回のこの「土器作りにチャレンジしよう」と銘打った学習会は、1日目は富沢遺跡整理事務所で2日目は山田上ノ台遺跡で場所を移して、2日間にわたって行ない、土器作り、土器焼きを中心に縄文食（縄文鍋・鳥の丸焼き）、石器作り、火おこしの活動を市内の親子25組が参加して行った。なかなか経験することのできない活動であり、普段、親子でいっしょにひとつのことを取り組むことがあまりない時代であるためか、参加者ひとりひとりがそれぞれの活動に真剣な眼差しで取り組んでいたのが印象深かった。

なお、この学習会に応募する親子は年々増加傾向にあり、応募者全員に参加して戴くことが出来ない状況になっており、来年以降の活動についてあらためて、考えなおして行く必要性がある。



土器作りの様子（富沢整理室）



石器作りの様子（山田上ノ台遺跡）

(3) 夏休み親子文化財めぐり

今回は、「史跡を訪ねて」というテーマで、仙台市内の親子約70組の参加を得て行われ、市内の古墳時代から奈良時代までの遺跡である善応寺横穴墓群、郡山遺跡、遠見塚古墳、陸奥国分寺跡の4ヶ所をバスで見学してまわった。



親子文化財めぐり

(4) 第13回文化財展並びに講演会

名取川と遺跡——川ぞいにくりひろげられた人々の歴史——をテーマに11月30日～5日までの6日間、藤崎リビング館6階市民ホールにおいて実施した。今回の展示は、人間の生活と自然環境との関わりの中でも、特に「川」に焦点をあて川ぞいに残された遺跡を通して、そこでくりひろげられた人間たちの生活の歴史を探ろうとしたもので、中でも名取川を対象としたのは、近年、その周辺の発掘調査が進み、生活の様子がしだいに明らかになってきており、さらに最近までの川ぞいのくらしの様子を示す民俗資料が豊富に残されているためである。開催期間中は2,000名を越える市民の方々が見学に訪れた。

なお、同時に開催した講演会は東北学院大学助教授岩崎真幸氏が「川と人々のくらし」、当委員会文化財課長早坂春一が「名取川と周辺の遺跡」と題し、それぞれの講演を行った。

(5) 第13回文化財パネル展

先に行なわれた第13回文化財展が好評を博したため、年間の予定にはなかったが急きょ太白区役所において、文化財パネル展を行うこととなった。その内容としては、前回の文化財展の写真パネルを中心に展示を行った。



文化財展の様子



講演会の様子

(6) 第14回文化財展——「発掘この一年」——

今年度は前年度の反省から、開催期間を2週間と延長し、3月4日～16日まで若林区役所1階ロビーにおいて、今年度の文化財関係の調査及び事業について、写真パネルや出土遺物を展示し、その成果を速報というかたちで市民の方々に紹介した。内容としては、郡山・富沢・王ノ壇・沼・大蓮寺・若林区内の遺跡紹介などであり、区役所をめぐる計画の2年目にあたる。

(7) その他

1. 記者発表・現地説明会を計3調査現場で実施した。
2. 広報機関紙「広報文化財」35号～37号を12,000部発行し、各関係機関に配布した。
3. 市民センターなどの依頼により、年間計25名の職員を派遣した。
4. 見学会を各学校などの依頼により、さまざま調査現場において、計6回にわたり行った。

平成2年度菅原活動実施一覧表

4. 新規登録の遺跡

今年度は下飯田遺跡（C-315）・西台埋板碑群（C-689）を登録し、すでに登録していた仮鞋坂城跡（C-530）の範囲を指定した。

(1) 下飯田遺跡（仙台市文化財分布地図番号85）（C-315）

所在 仙台市若林区下飯田

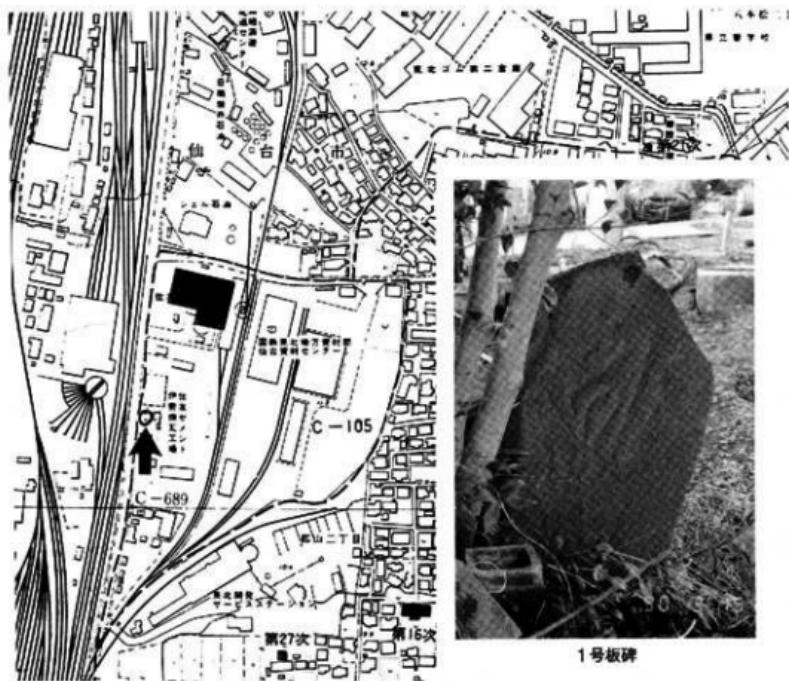
概要 宮城県教育庁文化財保護課等による仙台東道路建設に伴う遺跡範囲確認調査（1989年）で古墳時代の堅穴住居跡の他、円形周溝状造構、溝跡、土坑等が確認され土師器、須恵器等が出土している。

（注）図の縮尺は5000分の1（以下同じ）



(2) 西台烟囱碑群（仙台市文化財分布地図番号70）（C-689）

概要 レンガ造りの小祠（2基）の北側に板碑3基が南面して建てられている。1号板碑は種子がキリーク（阿弥陀如来）でその下に蓮台が刻まれている。蓮台の下の銘文は「嘉暦元年」（1326年）と読みとれる（現地上高90cm・最大幅72cm・最大厚25cm・石材 安山岩）。2号板碑は種子ア（胎藏界大日如来）で銘文の存在は明らかでない（現地上高34cm・最大幅36cm・最大厚9.5cm・石材 安山岩）。3号板碑は磨滅が著しい。一部に界線が認められるので板碑と推定される。



1号板碑

(3) 仮鞋坂城跡（仙台市文化財分布地図番号8）（C-530）

所在 仙台市宮城野区羽黒前一丁目他

概要 本城跡は、昭和49年刊『史料 仙台領内古城・館』で紫桃正隆氏が、岩切字若宮所在の壇・濠跡を『仙台領古城書上』（17世紀後半）の岩切村「仮鞋坂城」に指定している。大規模な土取りによって中心部が破壊されているが、南端部に帯郭もしくは土塁の一部が残っている。又、西側の道路沿いには堀跡を反映したと思われる凹地も認められる。なお城跡の範囲は利府町神谷沢に及んでいる。『仙台領古城書上』及び『風土記御用書出』には「伊達上野政景取立の要害」とある。



仙台市内に所在する指定文化財

(平成3年3月現在)

種別名	名称	所在地	所有者(管理者)	指定年月日
A) 建造物				
国 宝	大崎八幡神社1棟 附拂札1枚	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	昭27.11.22 (明36.4.15)
国指定重要文化財	大崎八幡神社本殿1棟	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	昭41.6.11
国指定重要文化財	陸奥國分寺豪頭堂1棟 附拂札1枚	若林区木ノ下二丁目8-1	陸奥國分寺	昭36.4.15
国指定重要文化財	東照宮5棟 附拂札1枚・石灯籠34基 本殿 廬門 透構 烏屋 隣身門	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	昭28.3.31
県指定有形文化財	東照宮手水舎1棟 附花崗岩造水盤	青葉区東照宮一丁目6-1	東照宮	昭39.9.4
県指定有形文化財	白山神社木殿1棟	若林区木ノ下三丁目9-1	白山神社	昭30.3.25
県指定有形文化財	落合觀音堂1棟 附拂札1枚	太白区西郎丸九落合60	光西寺	昭44.8.29
県指定有形文化財	大崎八幡神社石鳥居1基	青葉区八幡四丁目6-1	大崎八幡神社	昭45.10.30
県指定有形文化財	龟岡八幡神社石鳥居 附鳥居類	青葉区川内龟岡町62	龟岡八幡神社	昭45.10.30
県指定有形文化財	宮城県知事公館正門1棟 (旧仙台城門)	青葉区広瀬町5-43	宮城県	昭46.11.9
県指定有形文化財	旧仙台城板倉2棟	宮城野区岩切字二所北16	日野 正一	昭53.5.2
県指定有形文化財	陸奥國分寺豪頭堂仁王門1棟	若林区木ノ下三丁目8-1	陸奥國分寺	昭50.4.30
県指定有形文化財	諏訪神社木殿 附拂札12枚	青葉区愛子字宮下40	諏訪神社	昭38.7.2
県指定有形文化財	賀茂神社木殿2棟 附拂札2枚	果景区古内字礼1	賀茂神社	昭39.9.4
市指定有形文化財	善光寺開山堂1棟	宮城野区蔵沢二丁目3-1	善光寺	昭43.2.15
市指定有形文化財	旧惣四選召兵舍1棟	宮城野区五輪1丁目3-7	仙台市	昭33.6.16
市指定有形文化財	旧伊達城1棟	太白区寛政字人来西143-3	仙台市	昭38.12.1
市指定有形文化財	大年寺懇門1棟	太白区茂ヶ崎四丁目	(仙台市)	昭60.9.4
市指定有形文化財	成覚寺山門(山淨御院敷張門)1棟	若林区新寺一丁目10-12	成覚寺	昭61.12.20
市指定有形文化財	佐藤寺山門1棟	青葉区新坂町12-1	佐藤寺	昭61.12.20
市指定有形文化財	輪王寺山門1棟	青葉区北山一丁目6番街区	輪王寺	昭61.12.20
市指定有形文化財	人壽寺虛空藏堂1棟 附阿子1基	太白区向山四丁目17-1	人壽寺	昭62.3.30
市指定有形文化財	大慈寺山門(山万寿院敷張門)1棟	青葉区新坂町7-1	大慈寺	昭62.3.30
市指定有形文化財	泰心院山門1棟 (旧仙台藩藩校養賢堂正門)	若林区重富町100	泰心院	昭62.3.30
市指定有形文化財	宇摩智神社本殿1棟 附拂札5枚	青葉区字武字明神12	宇摩智神社	昭62.11.1 (昭67.12.27) (昭68.11.20)
市指定有形文化財	龍渓院内弁財天堂並びに堂地1棟	青葉区龍見ヶ丘四丁目	千田定雄ほか	昭62.11.1 (昭62.9.11)
市指定有形文化財	小瀬武樓1	太白区秋保町馬場字駅	仙台市	昭63.3.1 (昭58.8.1)
市指定有形文化財	旧鶴谷家住宅1棟	泉区福岡字岳山9-5	仙台市	昭63.3.1 (昭51.4.1)

種別名	名 称	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
B) 彫 削				
国指定重要文化財	木造枳庭如来立像1躯	青葉区八幡四丁目8-32	龍 宝 寺	昭36. 4. 15
県指定有形文化財	木造十二特将12軀	春林区木ノ下二丁目4-1	障壁画分寺	昭34. 8. 31
県指定有形文化財	聖觀音1駒	若林区新寺三丁目10-12	法 覚 寺	昭49. 4. 30
県指定有形文化財	木造毘沙門天立像1駒	若林区木ノ下二丁目4-1	陸奥糸分寺	昭50. 4. 30
県指定有形文化財	木造不動明王立像1駒	若林区木ノ下二丁目4-1	陸奥糸分寺	昭50. 4. 30
県指定有形文化財	木造十一面觀音立像1駒	泉区高森三丁目4-109	菊谷美津子	昭51. 3. 29
県指定有形文化財	木造阿彌陀如來立像1駒	若林区新寺三丁目5-3	阿彌陀寺	昭55. 5. 30
県指定有形文化財	木造阿彌陀如來立像1駒	泉区福岡字阿彌陀堂前21	早坂 忠治	昭40. 5. 18
市指定有形文化財	木造枳庭如來坐像1駒	青葉区北山一丁目14-1	輪 王 寺	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	木造枳庭如來立像1駒	青葉区茂庭字網木裏山4	大 梅 寺	平 2. 3. 19
市指定有形文化財	木造毘沙門天立像1駒	青葉区茂庭字網木裏山4	大 梅 寺	平 2. 3. 19
市指定有形文化財	木造安國上人生像1駒	若林区上通一丁目11-16	真 岩 寺	平 2. 3. 19
市指定有形文化財	木造空室如來坐像1駒	青葉区国見一丁目15-1	壽 德 寺	平 2. 3. 19
C) 絵 写				
県指定有形文化財	宮城県行門巖口1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県(美術館)	昭48. 1. 16
県指定有形文化財	松島五大堂図1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県(美術館)	昭48. 1. 16
県指定有形文化財	松島圓1点	青葉区川内元支倉34-1	宮城県(美術館)	昭48. 1. 16
県指定有形文化財	清酒善茶齋圖1幅 附淨土淨盡曼荼羅略記表中者	若林区新寺三丁目10-12	成 覚 寺	昭49. 4. 30
市指定有形文化財	紙本着色伊達政宗画像1幅 狩野探幽筆	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭44. 7. 31
市指定有形文化財	菊船和歌集2双	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	藤原ヶ原花見御風六舟半双	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	阿部 和子	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	青井柳閑水琴乍爾琴1柄	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	佐竹城本丸及二ノ丸御殿 障壁画 5点 六曲屏風正面1枚、一曲屏風正面1枚・委1枚、花木図6面、松に山鳥14面	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭50. 9. 4
市指定有形文化財	仙台藩第代藩主夫人肖像画 3幅2枚	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭50. 9. 4
市指定有形文化財	絹本著色重慶女、牡丹、芙蓉図 伊達禪宗筆 3幅	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭50. 9. 4
市指定有形文化財	紙本着色洞窟之図 1枚 東東洋筆	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭50. 9. 4
市指定有形文化財	銅版画彩絵しののマリア像 1面	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭50. 9. 4

種別名	名 称	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
D) 古 著				
国 宝	紙本墨書き聚國史 1巻	青葉区片平二丁目11	国(東北大学保管)	昭27.11.22
国 宝	紙本墨書き史記 1巻	青葉区片平二丁目1-1	国(東北大学保管)	昭27.11.22
市指定有形文化財	安倍傳記等跡:絵版 3種	青葉区茂庭字網木裏山1	大 鶴 寺	昭51. 7. 1
E) 工芸				
国指定重要文化財	太刀 1口	青葉区川内免町12	亀崎八幡神社	大 3. 4.17
国指定重要文化財	白長覆輪太刀 1口	青葉区台原西丁目8-15	杉 山 家	昭14. 5.27
国指定重要文化財	小紋象頭服 1	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭53. 6.15
国指定重要文化財	伊達政宗所用兜足 1頂	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭54. 6. 6
国指定重要文化財	豊臣秀吉所用兜足 1頂	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭54. 6. 6
県指定有形文化財	劍璫 1口	青葉区翠巒下23-5	瑞 風 寺	昭37. 6.28
県指定有形文化財	短刀	太白区根岸町3-10	人竹左右吉	昭34. 8.31
県指定有形文化財	刀 1口	太白区根岸町3-10	大竹左右吉	昭34. 8.31
県指定有形文化財	薙刀 1口	青葉区中央二丁目3-24	木村栄一郎	昭34. 8.31
県指定有形文化財	刀 1口	青葉区川内町一丁目4-14	佐藤 太志	昭34. 8.31
県指定有形文化財	刀 1口	青葉区一番町三丁目11-8	中川 高	昭38. 8.31
県指定有形文化財	太刀 1口	青葉区一番町三丁目11-8	中川 高	昭38. 8.31
県指定有形文化財	劍璫 1口	泉区山の寺二丁目3-1	洞 雲 寺	昭37. 6.28
市指定有形文化財	二沢初子所用舟 12条	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭44. 7.31
市指定有形文化財	銅造十二神将像掛軸 1面	若林区木ノ下三丁目6-1	障奥留分寺	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	梵鏡 1面	太白区向山四丁目4-1	大 漢 寺	昭52. 3. 1
市指定有形文化財	仙台藩主代蔵主所用丸足 11箱	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	服部類 伊達政宗所用 白鹿地毫良印所用候院院友1具・白卯地小袖1幅・白鹿地御前番1幅・ 紫羅青松地五色玉縁模様絞羽織1幅・袴袴1幅・大口袴1幅・鷹狩唐草紋竹に雀放入野持1幅 白鹿地御印合1枚	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	孔雀羽根絞足拂羽織 1幅 伊達政宗所用	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	茶杓 仙台藩代蔵主作 61箇	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	仙台城本丸御殿金瓦 2個 魚々子地菊絞羽絞絞1個・魚々子地草紋絞絞1個	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	花島山水乳雀羽羽絞敷蒼松 十三弦琴 1面 鷹狩唐草地御絞絞龜萬絃琴1合	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4

種別名	名 称	所 在 地	所有者(管理委)	指定年月日
F) 考古資料				
国指定重要文化財	埴輪武装男子半身像1個	青葉区台原四丁目8-16	杉 山 家	昭15. 5. 3
国指定重要文化財	硬土製有孔土器1個	青葉区台原四丁目8-16	杉 山 家	昭37. 2. 2
県指定重要文化財	埴輪甲冑、埴輪家紋鏡1個、埴輪刀銅1把	青葉区平二丁目1-1	文部省(東北大学)	昭34. 6. 27
国指定重要文化財	陸前国陪洋其家出土品 一括	青葉区片平二丁目1-1	文部省(東北大学)	昭38. 7. 1
国指定重要文化財	硬玉製石斧1雷	青葉区台原四丁目8-16	杉 山 家	昭48. 6. 6
市指定有形文化財	伊達政宗墓所出土品 一括	青葉区川内一の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
G) 古 文 書				
市指定有形文化財	印章 仙台藩墨代産土所用227面	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	伊達治家記録(仙台市博物館本) 696面	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	伊達世臣家譜及続編 268冊 (仙台市博物館本)	青葉区川内二の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
古指定有形文化財	伊達出自正統世次考25冊 (仙台市博物館本)	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	附錄代々考證 遺告好生筆10冊	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	美州山合御詔勅1冊	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	林子平自筆草本總圖類8枚 附六無著遺跡1冊	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
市指定有形文化財	支倉家文書 一括	青葉区川内二の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭60. 9. 4
H) 歴史資料				
国指定重要文化財	慶長遣欧使節関係資料一括	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭41. 6. 11
国指定重要文化財	坤輿萬國全圖(板木)6幅 附坤輿萬國全圖(着色)6幅	宮城野区権ヶ岡5	宮城県(図書館)	平2. 6. 29
市指定有形文化財	渾天鏡1基	青葉区権ヶ丘公園1-1	仙台市(天文台)	昭45. 2. 23
市指定有形文化財	象眼鏡1基	青葉区権ヶ丘公園1-4	仙台市(天文台)	昭45. 2. 23
市指定有形文化財	天球鏡2基	青葉区権ヶ丘公園1-1	仙台市(天文台)	昭45. 2. 23
市指定有形文化財	塵芥集(付函本)1函	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	隋宋公采地下賜鏡2枚	青葉区川内三の丸跡(市博物館)	仙台市(博物館)	昭51. 7. 1
I) 金 石 文				
市指定有形文化財	芭蕉句碑1基	若林区木ノ下二丁目	勝樂園分寺	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	人波三千風供養碑1基	若林区木ノ下二丁目	陸奥園分寺	昭51. 7. 1
市指定有形文化財	芭蕉句碑1基	宮城野区権ヶ岡23	鶴岡天満宮	昭52. 3. 1
市指定有形文化財	原町苦竹の道知るべ石1基	宮城野区原町三丁目	仙 台 市	昭52. 3. 1

種別名	名 称	所 在 地	所 収 者 (管理者)	指 定 年 月 日
J) 無形文化財				
県指定無形文化財	精好仙台半	太白区桜岸町15-5	甲田 毅郎	昭51. 3. 29
K) 有形民俗文化財				
市指定有形民俗文化財	上扇十三塚	太白区坪沼字上扇43番地のうち、小池政次郎 425号の土地を含む		平2. 3. 19
L) 無形民俗文化財				
国指定重要無形民俗文化財	秋保の田植踊	太白区秋保町馬場、長袋、新光	馬場の田植踊保存会 長袋の田植踊保存会 新光の田植踊保存会	昭51. 5. 4
県指定無形民俗文化財	大崎八幡神社の御神楽	青葉区八幡四丁目	人斎八幡神社の 御神楽保存会	昭47. 10. 11
県指定無形民俗文化財	愛子の田植踊	青葉区下愛了字町	愛子の田植踊保存会	昭35. 4. 23
県指定無形民俗文化財	大倉の役人田植踊	青葉区大倉字明神前	人倉の役人田植踊 保存会	昭35. 4. 23
県指定無形民俗文化財	新屋の田植踊	青葉区新川字北府民	新川の田植踊保存会	昭35. 4. 23
県指定無形民俗文化財	平沢の田植踊	青葉区平沢字明神	平沢の田植踊保存会	昭35. 4. 23
県指定無形民俗文化財	下倉の田植踊	青葉区大倉字宮前	下倉の田植踊保存会	昭46. 8. 3
県指定無形民俗文化財	川畠の挽踊・剣舞	青葉区牛込字大竹原	川前の鹿踊・剣舞 保存会	昭48. 11. 6
県指定無形民俗文化財	野口の鹿踊	太白区秋保町馬場	野口の鹿踊保存会	昭47. 10. 11
市指定美形民俗文化財	瀧原の獅子舞	太白区秋保町馬場	瀧原の獅子舞保存会	昭53. 3. 1 (昭51. 11. 3)
市指定美形民俗文化財	馬場愛宕神社神楽	太白区秋保町馬場字北山4	馬場愛宕神社 神楽保存会	昭53. 3. 1 (昭61. 8. 1)
市指定無形民俗文化財	福岡の鹿踊・剣舞	泉区包向中在家43	福岡の鹿踊・剣舞 保存会	昭53. 3. 1 (昭39. 10. 21)
市指定無形民俗文化財	上谷川の鹿踊・剣舞	泉区古内半乱	上谷川の鹿踊・剣 舞保存会	昭53. 3. 1 (昭39. 10. 21)
市指定無形民俗文化財	大沢の田植踊	泉区泉ヶ丘二丁目5-23	大沢の田植踊保存会	昭53. 3. 1 (昭52. 8. 1)
M) 史跡				
国指定史跡	陸奥国分寺跡	若林区木ノ下二丁目、三丁目	仙台市ほか(仙台市)	大11. 10. 12
国指定史跡	陸奥国分尼寺跡	若林区白森町	仙台市ほか(仙台市)	昭23. 12. 18
国指定史跡	林子平墓	青葉区子平町19-5	毫糸院(仙台市)	昭17. 7. 21
国指定史跡	達見塚古墳	若林区達見塚一丁目、二丁目	仙台市ほか(仙台市)	昭43. 11. 8
国指定史跡	岩切城跡	宮城野区岩切字入山ほか	仙台市ほか(仙台市)	昭57. 8. 23
市指定史跡	善光寺横穴古墳群	宮城野区桑沢一丁目	善光寺	昭43. 2. 15
市指定史跡	三経初子の墓など	宮城野区櫻ヶ岡五丁目4	仙台市	昭47. 2. 1
市指定史跡	刀工本郷国包の墓所	若林区新寺二丁目7-33	善導寺	昭55. 10. 20
市指定史跡	駒形塚	青葉区堂平下	仙台市ほか	昭59. 7. 21
市指定史跡	西蘿路	青葉区下愛了字熊	瓦口弘吉ほか	昭62. 11. 1 (昭50. 12. 11)
市指定史跡	堀六筑跡	青葉区堀六字庄子	安達久慈ほか	昭62. 11. 1 (昭50. 12. 11)
市指定史跡	我孫院泉所	泉区泉白石字船下	満興寺	昭63. 3. 1 (昭43. 3. 1)
市指定史跡	松森塙硝藏跡	泉区南光台東二丁目35-8	仙台市	昭63. 3. 1 (昭62. 5. 1)

種別名	名 称	所 在 地	所有者(管理者)	指定年月日
N) 名勝				
国指定名勝 秋保大滝	太白区秋保町馬場字大滝地内	建設省ほか (仙台市)	昭17. 3. 7	
国指定名勝 舞司	太白区秋保町馬場字舞山地内	林野庁(仙台市)	昭22. 2. 22	
O) 天然記念物				
国指定天然記念物 石竹のイチョウ	宮城郡区巣志町	水野ちとせ(仙台市)	人15.10.29	
国指定天然記念物 朝鮮ウメ	若林区古城二丁目	法務省(宮城刑務所)	昭17. 9. 19	
国指定天然記念物 青葉山	青葉区荒巻字青葉12番地の内	文部省(東北大大学)	昭47. 7. 11	
県指定天然記念物 芦池	太白区秋保町馬場字芦山	建設省(仙台市)	昭9. 5. 9	
県指定天然記念物 東昌寺のマルミガヤ	青葉区青葉町	東昌寺	昭30. 3. 25	
市指定天然記念物 霊廟下セコイア類化石林	青葉区米袋一丁目、二丁目、靈廟 下	宮城県	昭46. 6. 6	
市指定天然記念物 大樹寺のヒヨクシバ	青葉区浅瀬字御木真山4	大樹寺	昭52. 3. 1	
古指定天然記念物 脊(かんざし)桜	青葉区下愛子半町25-1 青葉区上愛子字上原80	庄子 善雄 庄子 善吉	昭62. 11. 1 (昭61. 5. 30)	
市指定天然記念物 リズベニアウ	泉区福岡字岳山	仙台市	昭63. 3. 1 (昭49. 5. 12)	
古指定天然記念物 鶴倉神社の神杉(雄杉)	泉区福岡字小山17	鶴倉神社	昭63. 3. 1 (昭60. 4. 25)	
市指定天然記念物 賀茂神社のイロハモミジ	泉区古内字乳1	賀茂神社	昭63. 3. 1 (昭60. 4. 25)	
市指定天然記念物 賀茂神社のタラヨウ	泉区古内字乳1	賀茂神社	昭63. 3. 1 (昭60. 4. 25)	
市指定天然記念物 賀茂神社のアラカシ	泉区古内字乳1	賀茂神社	昭63. 3. 1 (昭60. 4. 25)	

種別	有形文化財	無形文化財	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	名勝	天然記念物	合計
	国宝	3						
国指定	16	0	0	1	5	2	4	28
県指定	29	1	0	8	0	0	1	39
市指定	55	0	1	5	8	0	8	77
	103	1	1	14	13	2	13	147

文化財課職員録

課長 早坂 春一		調査第一係				調査第二係			
管 理 係	主 任	係 長 佐藤 隆	係 長 加藤 幹男	正範					
係長 榎川 義幸	田中 則和	上 任 鹿谷 洋	幹男						
上事 白幡 端子	篠原 信彦	主 事 佐藤 甲二							
・ 佐藤 良文	木村 浩二	・ 佐藤 渡部	弘美						
・ 高橋 三也	金森 安孝	・ 佐藤 主浜	光朗						
・ 庄司 厚	吉岡 泰平	・ 佐藤 中富	洋						
	工藤 哲司	・ 佐藤 平間	亮輔						
	斎野 裕彦	・ 佐藤 佐藤	淳						
	長島 葵一	・ 佐藤 渡部	紀						
	上藤 信一郎	・ 大江 教論	太田 昭大						
	荒井 格	・ 佐藤 小川	津一						
	大江 美智代	・ 五十嵐 高倉	祐一						
教諭	佐藤 好一								
	五十嵐 康洋								
	渡辺 雄二								

仙台市文化財調査報告書刊行目録

- 第 1集 天然記念物盆屋下セコイア化石林調査報告書（昭和39年4月）
- 第 2集 仙台城（昭和42年3月）
- 第 3集 仙台市燕沢寺守護穴古墳群調査報告書（昭和43年3月）
- 第 4集 史跡除興國分尼寺跡環境整備並びに調査報告書（昭和44年3月）
- 第 5集 仙台市南小泉法領塚古墳調査報告書（昭和47年8月）
- 第 6集 仙台市荒巻五本松窓跡発掘調査報告書（昭和48年10月）
- 第 7集 仙台市富沢窓跡古墳発掘調査報告書（昭和49年3月）
- 第 8集 仙台市向山愛宕山横穴群発掘調査報告書（昭和49年5月）
- 第 9集 仙台市根岸町宗押寺横穴群発掘調査報告書（昭和51年3月）
- 第 10集 仙台市中町安久東通路発掘調査報告書（昭和51年3月）
- 第 11集 史跡遠見塚古墳環境整備予備調査概報（昭和51年3月）
- 第 12集 史跡遠見塚古墳環境整備第二次予備調査概報（昭和52年3月）
- 第 13集 南小泉通跡一箇所確認調査報告書一（昭和53年3月）
- 第 14集 東通跡発掘調査報告書（昭和54年3月）
- 第 15集 史跡遠見塚古墳昭和53年度環境整備予備調査概報（昭和54年3月）
- 第 16集 六反田通跡発掘調査（第2・3次）のあらまし（昭和54年3月）
- 第 17集 北屋敷遺跡（昭和54年3月）
- 第 18集 例江通跡発掘調査報告書（昭和55年3月）
- 第 19集 仙台市地下鉄関係分布調査報告書（昭和55年3月）
- 第 20集 史跡遠見塚古墳昭和54年度環境整備予備調査概報（昭和55年3月）
- 第 21集 仙台市開発関係通跡調査報告書（昭和55年3月）
- 第 22集 猪ヶ峰（昭和55年3月）
- 第 23集 年報1（昭和55年3月）
- 第 24集 今泉城跡発掘調査報告書（昭和55年3月）
- 第 25集 三神峯遺跡発掘調査報告書（昭和55年12月）
- 第 26集 史跡遠見塚古墳昭和55年度環境整備予備調査概報（昭和56年3月）

- 第 27集 史跡陸奥国分寺跡昭和55年度発掘調査概報（昭和56年 3月）
 第 28集 年報 2（昭和56年 3月）
 第 29集 郡山遺跡 I－昭和55年度発掘調査概報（昭和56年 3月）
 第 30集 山上上ノ台遺跡発掘調査概報（昭和56年 3月）
 第 31集 仙台市開発関係遺跡調査報告書 II（昭和56年 3月）
 第 32集 鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和56年 3月）
 第 33集 山口遺跡発掘調査報告書（昭和56年 3月）
 第 34集 六反田遺跡発掘調査報告書（昭和56年12月）
 第 35集 南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第 1次調査報告（昭和57年 3月）
 第 36集 北前道跡発掘調査報告書（昭和57年 3月）
 第 37集 仙台平野の遺跡群 I－昭和56年度発掘調査報告書（昭和57年 3月）
 第 38集 郡山遺跡 II－昭和56年度発掘調査概報（昭和57年 3月）
 第 39集 燕沢遺跡発掘調査報告書（昭和57年 3月）
 第 40集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報 I（昭和57年 3月）
 第 41集 年報 3（昭和57年 3月）
 第 42集 郡山遺跡－宅地造成に伴う緊急発掘調査一（昭和57年 3月）
 第 43集 萩遺跡（昭和57年 3月）
 第 44集 鴻ノ巣遺跡発掘調査報告書（昭和57年12月）
 第 45集 茂庭一茂庭住宅団地造成工事地内遺跡発掘調査報告書一（昭和58年 3月）
 第 46集 郡山遺跡 III－昭和57年度発掘調査概要一（昭和58年 3月）
 第 47集 仙台平野の遺跡群 II－昭和57年度発掘調査報告書一（昭和58年 3月）
 第 48集 史跡遠見塚古墳昭和57年度環境整備手帳調査概報（昭和58年 3月）
 第 49集 仙台市文化財分布調査報告書 I（昭和58年 3月）
 第 50集 岩切畠中遺跡発掘調査報告書（昭和58年 3月）
 第 51集 仙台市文化財分布地図（昭和58年 3月）
 第 52集 南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第 2次調査報告（昭和58年 3月）
 第 53集 中田畠中遺跡発掘調査報告書（昭和58年 3月）
 第 54集 神明社窯跡発掘調査報告書（昭和58年 3月）
 第 55集 南小泉遺跡－青葉女子学園移転新宮工事地内調査報告（昭和58年 3月）
 第 56集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報 II（昭和58年 3月）
 第 57集 年報 4（昭和58年 3月）
 第 58集 今泉城跡（昭和58年 3月）
 第 59集 ドノ内浦遺跡（昭和58年 3月）
 第 60集 南小泉遺跡 I－倉庫建替に伴う緊急発掘調査報告書一（昭和58年 3月）
 第 61集 山口遺跡 II－仙台市体育館建設予定地一（昭和59年 2月）
 第 62集 燕沢遺跡（昭和59年 3月）
 第 63集 史跡陸奥国分寺跡と昭和58年度発掘調査概報（昭和59年 3月）
 第 64集 郡山遺跡 IV－昭和58年度発掘調査概要一（昭和59年 3月）
 第 65集 仙台平野の遺跡群 III－昭和58年度発掘調査報告書一（昭和59年 3月）
 第 66集 年報 5（昭和59年 3月）
 第 67集 高山水田遺跡 第 1番・泉崎前地区（昭和59年 3月）
 第 68集 南小泉遺跡－都市計画街路建設工事関係第 3次調査報告（昭和59年 3月）
 第 69集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅲ（昭和59年 3月）
 第 70集 ドノ内浦遺跡発掘調査報告書（昭和59年 3月）
 第 71集 後河原遺跡（昭和59年 3月）
 第 72集 六反田遺跡 II（昭和59年 3月）
 第 73集 仙台市文化財分布調査報告書 II（昭和59年 3月）
 第 74集 郡山遺跡 V－昭和59年度発掘調査概報一（昭和60年 3月）
 第 75集 仙台平野の遺跡群 IV（昭和60年 3月）
 第 76集 仙台城二ノ丸跡発掘調査報告書（昭和60年 3月）
 第 77集 山上上ノ台遺跡－昭和59年度発掘調査報告書一（昭和60年 3月）
 第 78集 中田畠中遺跡－第 2次発掘調査報告書一（昭和60年 3月）
 第 79集 欠ノ上ノ台遺跡発掘調査報告書（昭和60年 3月）
 第 80集 南小泉遺跡 第12次発掘調査報告書一（昭和60年 3月）
 第 81集 南小泉遺跡 第13次発掘調査報告書一（昭和60年 3月）
 第 82集 仙台市高速鉄道関係遺跡調査概報Ⅳ（昭和60年 3月）
 第 83集 年報 6（昭和60年 3月）
 第 84集 仙台市文化財分布調査報告書Ⅲ（昭和60年 3月）
 第 86集 宮城県仙台市愛宕山猿飾横穴古墳発掘調査報告書（昭和60年 8月）

- 第 86集 郡山遺跡Ⅴ（昭和61年3月）
 第 87集 仙台平野の遺跡群Ⅴ—昭和60年度発掘調査報告書—（昭和61年3月）
 第 88集 上野遺跡発掘調査報告書（昭和61年3月）
 第 89集 仙台市高遠鉄道関係遺跡調査概報V（昭和61年3月）
 第 90集 石林城跡－平安時代の集落跡－（昭和61年3月）
 第 91集 東北電力鉄塔関係遺跡調査報告書（昭和61年3月）
 第 92集 五城中北跡発掘調査報告書（昭和61年3月）
 第 93集 仙台市文化財分布調査報告Ⅳ（昭和61年3月）
 第 94集 年報7（昭和61年3月）
 第 95集 柳生（昭和62年3月）
 第 96集 郡山遺跡Ⅵ－昭和61年度発掘調査概報－（昭和62年3月）
 第 97集 仙台平野の遺跡群Ⅵ—昭和61年度発掘調査報告書—（昭和62年3月）
 第 98集 常沢遺跡（昭和62年3月）
 第 99集 五本松窯跡発掘調査報告書（昭和62年3月）
 第100集 山上ノ台発掘調査報告書（昭和62年3月）
 第101集 仙台市高遠鉄道関係遺跡調査概報VI（昭和62年3月）
 第102集 六反田遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）
 第103集 八袋Ⅲ遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）
 第104集 富沢遺跡－東北地方建設局町舎出建設工事に伴う発掘調査報告書－（昭和62年3月）
 第105集 北前遺跡発掘調査報告書（昭和62年3月）
 第106集 仙台市文化財分布調査報告書V（昭和62年3月）
 第107集 年報8（昭和62年3月）
 第108集 春日社古墳・鳥居塚古墳発掘調査報告書（昭和62年8月）
 第109集 南小泉遺跡－第14次発掘調査報告書－（昭和62年11月）
 第110集 郡山遺跡Ⅶ－昭和62年度発掘調査概報－（昭和63年3月）
 第111集 仙台平野の遺跡群Ⅶ—昭和62年度発掘調査報告書—（昭和63年3月）
 第112集 東光寺遺跡発掘調査報告書（昭和63年3月）
 第113集 富沢遺跡第24次調査報告書（昭和63年3月）
 第114集 富沢遺跡第28次発掘調査報告書（昭和63年3月）
 第115集 下ノ内浦遺跡発掘調査報告書（昭和63年3月）
 第116集 燕沢遺跡（昭和63年3月）
 第117集 富沢遺跡第33次発掘調査報告書（昭和63年3月）
 第118集 富沢遺跡第34次発掘調査報告書（昭和63年3月）
 第119集 京崎浦遺跡発掘調査報告書（昭和63年3月）
 第120集 錦ヶ丘ニユータウン開発遺跡調査報告書（昭和63年3月）
 第121集 仙台市文化財分布調査報告書Ⅷ（昭和63年3月）
 第122集 年報9（昭和63年3月）
 第123集 鴻ノ巣遺跡（平成元年3月）
 第124集 郡山遺跡Ⅷ—昭和63年度発掘調査概報－（平成元年3月）
 第125集 仙台平野の遺跡群Ⅸ－昭和63年度発掘調査報告書－（平成元年3月）
 第126集 仙台市高遠鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅰ（平成元年3月）
 第127集 上野遺跡－電力鉄塔関係発掘調査報告書（平成元年3月）
 第128集 高沢・泉崎浦・山口遺跡－36～48次・4次・5～8次－（平成元年3月）
 第129集 北前遺跡第3次発掘調査報告書（平成元年3月）
 第130集 茂ヶ崎横穴墓群（平成元年3月）
 第131集 南小泉遺跡－第15次発掘調査報告書－（平成元年3月）
 第132集 年報10（平成元年3月）
 第133集 郡山遺跡Ⅹ－平成元年度発掘調査概報－（平成2年3月）
 第134集 仙台平野の遺跡群Ⅺ－平成元年度発掘調査報告書－（平成2年3月）
 第135集 高沢・山口遺跡（2）－富沢遺跡50～56次・山口遺跡10～12次－（平成2年3月）
 第136集 仙台市高遠鉄道関係遺跡発掘調査報告書Ⅱ（平成2年3月）
 第137集 茂ヶ崎けんとう城・東船橋発掘調査報告書（平成2年3月）
 第138集 大野田古墳群発掘調査報告書（平成2年3月）
 第139集 赤生津遺跡発掘調査報告書（平成2年3月）
 第140集 南小泉遺跡－第16～18次発掘調査報告書（平成2年3月）
 第141集 南小泉遺跡－第19次発掘調査報告書（平成2年3月）
 第142集 東光寺・青葉山A・富沢遺跡（平成2年3月）
 第143集 年報11（平成2年3月）
 第144集 仙台城址の自然（平成2年3月）

- 第145集 郡山遺跡一第81次・85次発掘調査報告書一（平成2年6月）
第146集 郡山遺跡一平成2年度発掘調査概報一（平成3年3月）
第147集 仙台平野の遺跡群一平成2年度発掘調査報告書一（平成3年3月）
第148集 酒ノ巣遺跡第6次調査報告書（平成3年3月）
第149集 畠沢遺跡一第30次調査報告書第1分冊一絵文～近世編（平成3年3月）3月
第150集 畠沢遺跡第35次発掘調査報告書（平成3年3月）
第151集 山口遺跡（平成3年3月）
第152集 畠沢遺跡・山口遺跡(3)（平成3年3月）
第153集 南小泉遺跡第20次発掘調査報告書（平成3年3月）
第154集 燕沢遺跡第4・5・6次発掘調査報告書（平成3年3月）
第155集 年報12（平成3年3月）

仙台市文化財調査報告書第155集

平成2年度

年 報 12

平成3年3月

発行 仙台市教育委員会

仙台市青葉区国分町3-7-1
仙台市教育委員会文化財課

印刷 針生印刷株式会社

仙台市若林区六丁の1-38
TEL 288-5001

